

# CBC NEWS LETTER

Vol.12, No.1, Sep.2011



国立大学法人  
小樽商科大学ビジネス創造センター

ニューズレター [Vol.12, No.1]

## I N D E X

1. センター長就任のご挨拶
2. ビジネス創造センターの新体制
3. 「CBCビジネスサポート」を開設
4. 平成22年度CBCセミナー実施報告
5. 平成22年度ビジネス創造センター  
産学官連携研究成果報告会実施報告
6. 主要日誌

1

## センター長就任のご挨拶



CBCセンター長 李 濟民  
(大学院商学研究科アントレプレナーシップ専攻 教授)

平成23年4月1日に海老名誠前センター長の後を受け、CBCセンター長に就任いたしました。平成元年に本学の商学科に赴任して以来、学部及び大学院で国際経営やマネジメントと戦略を担当しています。この度、CBCセンター長という重責を担うこととなり、戸惑うことも多いのですが、澤田副センター長をはじめ、主任の先生方やスタッフの方たちのご協力のお蔭で、新たなCBCの運営方針を打ち出すことができました。

地域共同研究センターとしての機能をより一層発揮してもらうために、平成23年度からの事業内容の重点を①イノベーションを目指した産業振興プロジェクトの推進、②ビジネスサポートの積極的展開、③開放型研究セミナーなどによる「知の循環構造」を構築に移してまいります。

即ち、地域社会のニーズを掘り起こし、本学と外部機関(民間企業、行政機関、NPO法人など)との共同研究や受託研究をより一層積極的に推進してまいります。また、共同・受託研究先のみならず、広く一般市民にも参加してもらい、「開放型セミナー」を実施することによって、できる限り多種多様な意見を取り入れ、文字通り、産官学一体となった取り組みを実現してまいります。さらにその内容を可能な限り公開することで、社会に還元する「知の循環構造」を作り上げることいたします。

商学の単科大学として商学(経営)、経済、企業法学、社会情報の4つの専門領域での知見と大学院(特にビジネススクール修了の実務家や専門家集団)を最大限フルに動員し、上記の方針を実現してまいります。さらには北海道の理工系大学・研究所との連携をより強力に進めることで、包括かつ実用的なビジネスサポートを行ってまいります。

こうした垣根を越えた真摯な取り組みを積み重ねることで、北海道のみならず、震災後の新たな日本の競争力を築き上げることに役立つ「知的プラットフォーム」としてCBCを運営してまいります。

## 2

## ビジネス創造センターの新体制

平成18年4月から小樽商科大学ビジネス創造センター長を勤めた海老名誠特任教授は平成23年3月をもって定年退職しました。センター長には代わって李濟民(大学院商学研究科アントレプレナーシップ専攻教授)が就任し、副センター長の澤田芳郎(ビジネス創造センター教授)とともに業務にあたっています。スタッフは次のとおりです。よろしくお願いいたします。

センター長	李 濟民(大学院商学研究科アントレプレナーシップ専攻教授)
副センター長	澤田 芳郎(ビジネス創造センター教授)
総務部主任	深田 秀実(商学部社会情報学科准教授)
スタッフ	小林 友彦(商学部企業法学科准教授)
スタッフ	福重 八恵(大学院商学研究科アントレプレナーシップ専攻准教授)
研究部主任	中村 秀雄(大学院商学研究科アントレプレナーシップ専攻教授)
スタッフ	近藤 公彦(大学院商学研究科アントレプレナーシップ専攻教授)
スタッフ	加賀田和弘(商学部商学科准教授)
スタッフ	保田 隆明(大学院商学研究科アントレプレナーシップ専攻准教授)
情報資料部主任	木村 泰知(商学部社会情報学科准教授)
スタッフ	堺 昌彦(大学院商学研究科アントレプレナーシップ専攻准教授)

## ユーザーエクスペリエンス研究部門

研究部門長	平沢 尚毅(商学部社会情報学科教授)
	山田(河合)菊子(ビジネス創造センター准教授)
	葛西 秀昭(ビジネス創造センター学術研究員)
	浅村 次美(事務補佐員)

## 事務局

	蔵重 治(企画・評価室室長代理, 研究協力係長)
	高山慎太郎(企画・評価室研究協力係)
	今野 茂代(助手)
	田中 志帆(事務補佐員)

CBCフェロー, 運営会議委員は省略

## 3

## 「CBCビジネスサポート」を開設

経済のグローバル化のもと、ビジネス環境を直視しつつ、論理と分析にもとづいて、また新しい発想で大局的かつ柔軟に企業戦略を立案、実行することはわが国の企業にとってきわめて重要な課題です。そこでCBCは2011年7月、本学ビジネススクール出身者を中心とする多くのスペシャリストを組織し、企業や起業志望者向けにプロフェッショナル相談サービスを提供する「CBCビジネスサポート」を設けました。企業や起業志望者が直面する問題についてCBCの教員が無料で問題を整理し、必要に応じて有料コンサルに展開します。一連の過程はビジネススクー

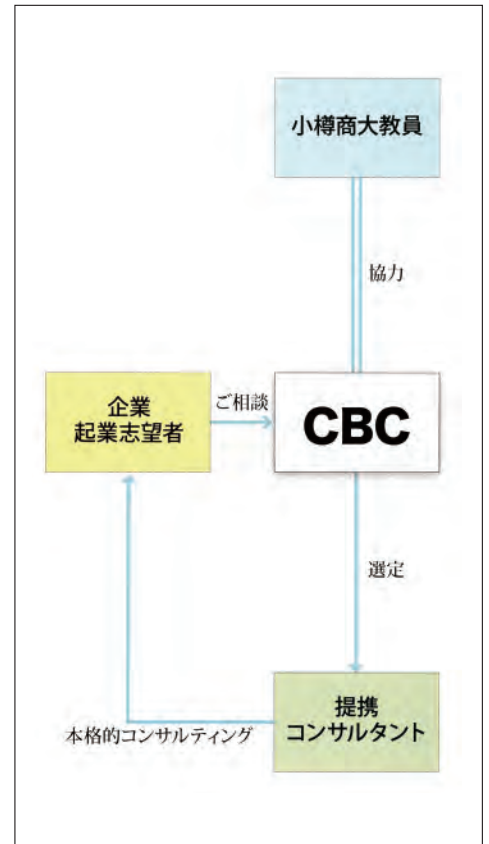
## 3

ルの教員が監修します。

対象分野は「マネジメント全般，起業，ビジネスプランニング」「会計，金融，ファイナンス」「人事，労務，社内教育」「購買，サプライチェーン」「マーケティング，商品開発」「研究開発，産学官連携」等です。研究開発や生産管理に関する案件など理工系教員の関与が必要な場合は，CBC 教員が他大学とのネットワークを活用して転送先（本学の理工系教員も含む）の探索や先方大学との連絡などをお手伝いします。手順は次のとおりです。

- ① CBCへのご相談(無料)
- ② 提携コンサルタントとの協議(無料)
- ③ 本格的コンサルティング(有料)

このうち、①および②のサービスの主催者は「小樽商科大学ビジネス創造センター」ですが、③の提携コンサルタントによる本格的なコンサルティングについては、相談者と当該コンサルタントとの契約条件が適用されるものとします。なお、必要に応じて相談者、提携コンサルタント、CBCの間で守秘義務覚書を交わします。また、提携コンサルタントからのフィードバックを得て、CBCの活動の参考にさせていただきます。詳しくはCBCにお問い合わせください。



## 4

## 平成22年度CBCセミナー実施報告

2月23日(水)オーセントホテル小樽において、観光におけるITの活用をテーマに「平成22年度CBCセミナー」を開催しました。

まず講演として、アトレプレナリシップ専攻の近藤公彦教授がインターネット上の仮想空間を



近藤公彦教授



深田秀実准教授

## 4

活用して商店街の活性化を図るi-vacsと、狸小路商店街(札幌市)での実践活動について報告を行いました。ついで社会情報学科の深田秀実准教授が、携帯電話を利用したAR(拡張現実感)による小樽運河エリアの観光情報サービス実験の結果を発表しました。

後半には、2名の報告者にユーザー側として小樽観光協会専務理事の赤間元氏に加わっていただき、大津晶副センター長の司会でパネルディスカッションが行われました。約40名の参加者は熱心に聞き入り、後半にはパネリストと参加者が活発なディカッションを持ちました。プログラムは以下のとおりでした。



パネルディスカッション  
左から 大津晶副センター長、赤間元氏  
深田秀実准教授、近藤公彦教授



会場の様子

- i-vacsによる地域活性化の取り組み ～狸小路商店街を舞台として～  
近藤公彦(小樽商科大学大学院商学研究科アントレプレナーシップ専攻教授)
- 新しいモバイル観光情報サービス ～小樽運河エリアを事例として～  
深田秀実(小樽商科大学商学部社会情報学科准教授)
- パネルディスカッション「観光におけるIT活用」  
近藤公彦  
深田秀実  
赤間 元(社団法人小樽観光協会専務理事)  
司会:大津 晶  
(小樽商科大学ビジネス創造センター副センター長・社会情報学科准教授)

## 5

## 平成22年度ビジネス創造センター 産学官連携研究成果報告会実施報告

3月25日(金)にACU [アキュー](札幌市中央区北4条西5丁目, アスティ45内)において「平成22年度小樽商科大学ビジネス創造センター産学官連携研究成果報告会」を開催し、「観光におけるIT活用」をテーマとして、2本の報告とパネルディスカッションを行いました。参加者は約

5

50名で、「今後の実用化への期待」や「商店街活性化の必要性」について意見が寄せられ、スマートフォンの実演も好評でした。プログラムは以下のとおりでした。

- i-vacsによる地域活性化の取り組み ～狸小路商店街を舞台として～  
近藤公彦（小樽商科大学大学院商学研究科アントレプレナーシップ専攻教授）
- スマートフォンを活用した観光情報サービス  
～小樽運河エリアを事例とした新しい取り組み～  
深田秀実（小樽商科大学商学部社会情報学科准教授）  
兵藤雄二（NTTコムウェア株式会社）
- パネルディスカッション「観光におけるIT活用」  
近藤公彦  
深田秀実  
菊池 恒（北海道商店街振興組合連合会副理事長・  
札幌市商店街振興組合連合会理事長・札幌狸小路商店街振興組合理事長）  
土門 亨（オフィスITM代表, 小樽商科大学CBC学外協力スタッフ）  
司会：海老名 誠（小樽商科大学ビジネス創造センター長・教授）



近藤公彦教授



深田秀実准教授



兵藤雄二氏



パネルディスカッション  
左から 海老名誠センター長、菊池恒氏  
土門亨氏、深田秀実准教授、近藤公彦教授

## 6

## 主要日誌（平成23年3月19日－8月31日）

平成22年度	
3月25日(金)	平成22年度小樽商科大学ビジネス創造センター産学官連携研究成果報告会 (於: ACU(札幌))
3月25日(金)	平成22年度小樽商科大学ビジネス創造センター学外協力スタッフ会議 (於: ACU(札幌))
3月28日(月)	運営会議(持ち回り) 審議事項: 1. ビジネス創造センター副センター長及び主任の選出について 2. 小樽商科大学ビジネス創造センター規程の一部改正について
平成23年度	
4月12日(火)	第1回主任会議
4月20日(水)	第1回運営会議 審議事項: 1. 平成22年度決算について 2. 平成23年度予算について 3. 平成23年度各部スタッフについて 4. 新規CBCフェローについて 5. CBCWeb のトップページについて
5月10日(火)	第2回主任会議
6月14日(火)	第3回主任会議
6月22日(水)	第2回運営会議 審議事項: 1. ビジネス創造センター スタッフの追加について 2. 平成 23年度学外協力スタッフの推薦について 3. CBC新パンフレットについて 報告事項: 1件
7月 5日(火)	学生論文賞第1回実施委員会
8月10日(水)	HoPE8月例会(於: JSTイノベーションプラザ北海道)で李濟民センター長講演
8月19日(金)	北洋銀行ものづくりテクノフェア2011(於: 札幌コンベンションセンター)出展

## 投稿案内

ニュースレターはCBCに関する情報をタイムリーに開示するだけでなく、CBC関係者相互の情報交換の場でもあります。CBC関係各位の積極的な投稿をお待ちしています。

投稿, 問い合わせはEメールにてお願いします。投稿は随時受け付けておりますが, 投稿原稿の採否, 掲載号の決定はCBC情報資料部に御一任ください。

○ 投稿先 小樽商科大学ビジネス創造センター情報資料部

Eメール: [cbcjimu@office.otaru-uc.ac.jp](mailto:cbcjimu@office.otaru-uc.ac.jp)

国立大学法人  
小樽商科大学ビジネス創造センター(CBC)  
〒047-8501 小樽市緑3丁目5番21号  
事務室 TEL 0134-27-5290  
FAX 0134-27-5293  
Eメール [cbcjimu@office.otaru-uc.ac.jp](mailto:cbcjimu@office.otaru-uc.ac.jp)